

2008年1月(先月の重大ニュース)

COP13が開幕

地球温暖化対策の新たな枠組みづくりに向けた国連気候変動枠組み条約第13回締約国会議(COP13)が、インドネシア・バリ島で180か国以上が参加して始まった。14日までの予定。08~12年の温暖化ガス削減目標などを定めた京都議定書後の枠組みについて正式な交渉開始に合意し、09年の交渉完了までの行程表「バリ・ロードマップ」を描けるかどうか最大の焦点。(3日)

国際学力調査で日本またダウン

経済協力開発機構(OECD)が去年、57か国・地域の15歳計40万人に行った学習到達度調査(PISA)の結果を公表。日本は約6000人の高校1年生が受け、「科学的リテラシー(応用力)」で前回(03年)2位から6位に、「読解力」で14位から15位に、「数学的リテラシー」では6位から10位に順位を落とした。(4日) = 2面の「日本の子どもの学力は...」で詳しく伝えています。

養護教諭の役割、明確に

文部科学省は、学校保健法を改正し、「児童生徒の養護をつかさどる」と書かれているだけだった養護教諭の役割や仕事の内容を明確にする方針を決めた。いじめや不登校などの問題について、学校の内外と連携を取りやすくするため。(9日)

陸の気温、史上最高

気象庁は、07年の日本と世界の年平均気温(速報値)を発表。陸域のみの世界の年平均気温は平年に比べ0.67度高く、統計を取り始めた1880年以降で最も高くなる見通し。同庁は、二酸化炭素などの温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化の影響に、数年~数十年周期の長期的な高温傾向が重なったとみている。(13日)

日本のODA、2010年に6位に

日本政府による途上国援助(ODA)の額が、2010年には6位に転落する見通しであることが、経済協力開発機構(OECD)の開発援助委員会の試算で明らかになった。00年まで10年連続で首位だったが、その後、米英に抜かれて06年は3位に順位を落としていた。10年までに、さらに独仏伊に抜かれる見通し。(19日)

言い伝えに医学的根拠ないと米チーム

「暗いところで本を読むと目が悪くなる」「毛をかみそりでそると濃くなる」「毛やつめは死んでからも伸びる」など、米国で一般によく信じられている体に関する言い伝えについて、医学的な裏付けがないばかりか、誤りのものもあるとする研究結果を米インディアナ大のチームがまとめた。22日発行の英医学誌に論文が掲載された。(22日)

タミフル10代の使用制限を継続

インフルエンザ治療薬タミフルをめぐる、厚生労働省は10代への使用を制限している措置を続けることを決めた。昨季の患者1万人を対象に、服用と飛び降りなどとの因果関係を調べていた同省研究班は、「タミフルを飲んでも異常行動全般のリスクは高まらない」と分析しながらも、「まだ結論は変わる可能性がある」として、措置の解除には踏み込まなかった。(25日)